

6年作品解説

<h2>平面作品</h2>	<p>『夢見る風景』 言葉にしなくとも、心の中では様々なことを思い浮かべたり、考えたり…自分の好きなものについて調べ、そこから想像を広げ、夢に見たような不思議な世界を絵に表しました。</p> <p>『墨と水から広がる世界』 ぼたっと落ちた墨、すうっとにじんだ墨…墨は水の量や描き方によって様々な表現をすることができます。偶然にできる色や模様の美しさを味わいながら、気持ちのままに手を動かして描きました。</p>
<h2>立体作品</h2>	<p>『一枚の板から』 一枚の板から切り方や組み立て方を工夫して、長く使うことができる棚や箱を作りました。アイデアスケッチから始め、自分で計画を立てて取り組みました。オリジナルの作品になるよう形や色をよく考えながら、仕上げました。</p> <p>『水の流れのよう』 高い温度で焼くことで、粘土は固く丈夫になります。ガラスは溶けて流れ出し、冷えると固まります。高低差のある構造やふちのつくり方を工夫して、ガラスが水の流れに見えるような焼き物をつくりました。</p>
<h2>共同作品</h2>	<p>『折り染めステンドグラス』 紙の折り方や色の組み合わせ方を工夫して、和紙を染めました。さらにその和紙を切ることで、自分だけの模様をつくり出しました。97人分並べると、その美しさは圧巻です。万華鏡をのぞいているかのような世界をお楽しみください。</p>
<h2>家庭科作品</h2>	<p>『オリジナルきんちゃく袋』 ミシン縫いに慣れてきた6年生。好みの布地の柄を選び、無地の布とつなぎ、きんちゃく袋を作りました。 袋の形にしてひもを通すまでの工程は、難しいところもありましたが、注意深く作業をし、出来上がったときの喜びはひとしおでした。無地の部分にイニシャルを縫い取ったり、アイロンフェルトをつけ、自分オリジナルの素敵なきんちゃく袋が出来上りました。</p> <p>『グループでリメイク』 東京都でオリパラに向けてたくさん冷感タオルをいただいたので、グループでリメイクしました。グループごとのアイディアと今まで家庭科で学習した技能を生かして、どんなものが出来上がったでしょう？</p>